

春闘・総選挙勝利 総決起集会開催



米国発の世界同時不況で大リストラの嵐が日本列島を吹き荒れる中、今年には政権交代をかけた総選挙と、雇用も賃上げも実現をめざす春闘を同時に取り組むことになる。

連合鹿児島は、これらの戦いをすべて勝利するため「総選挙・春闘勝利総決起集会」を開催し、獨協大学教授・経済アナリストの森永卓郎氏の記念講演を受ける。決起集会に参加し、春闘・総選挙を勝利しよう!!

日時：3月1日(日)
午後6時～8時
会場：鹿児島市民文化ホール第2会場
内容：午後6時 総決起集会
午後7時 記念講演

次期総選挙連合推薦候補予定者



第2区 民主党
打越あかし



第1区
民主党 川内ひろし



第3区 国民新党
松下 忠洋



第5区
民主党 あみや信介



第4区
民主党 みなよし 稲生

森永卓郎 来たる!!

本当に幸せをもたらす社会とは

アメリカの信用バブルがはじけて、世界中が金融危機に巻き込まれている。新自由主義者が理想と考えてきた経済システムが、けっしてうまくいかない。むしろほとんどの人を不幸にするという事実だった。だから、私たちがやらなければならないことは、いまこそ「どういう経済システムを作ったら、世界の人々が幸せになれるのか」というグランドデザインを描くことなのだ。



■森永卓郎 プロフィール

獨協大学教授・経済アナリスト
昭和32年生まれ、東京都出身
東京大学経済学部経済学科卒業

日本専売公社、日本経済研究センター(出向)、三井情報開発総合研究所、(株)UFJ総合研究所(現三菱UFJリサーチ&コンサルティング株)を経て、現在 獨協大学経済学部教授。専門は労働経済学と計量経済学、そのほかに、金融、恋愛、おたくグッズなど、多くの分野で論評を展開している。日本人のラテン化が年来の主張。

主な著書

- ・「<非婚>のすすめ」講談社現代新書1997年
- ・「バブルとデフレ」講談社現代新書1998年
- ・「痛快ピンボー主義!」日本経済新聞社1999年
- ・「リストラと能力主義」講談社現代新書2000年
- ・「悪女と紳士の経済学」日経ビジネス人文庫2001年
- ・「成功するEメール失敗するEメール」講談社2001年
- ・『日本経済「暗黙」の共謀者』講談社・α新書2001年
- ・「年収300万円時代を生き抜く経済学」光文社2003年など多数。